雨水対策施設（雨水貯留・浸透施設）の仕組み

雨水対策施設のうち雨水貯留・浸透施設は、降雨による雨水流出量を減少させる施設です。
人々の生活や財産を守り、安全なまちづくりに貢献します。

① 雨水浸透ます

雨水ますの底部に穴をあけ、その周囲に砂利を敷き並べ、そこから雨水を地下に浸透させるもの。

② 浸透トレンチ

雨水浸透を目的として、浸透管とその周囲の充填材から構成される構造物およびこれと同等のもの。

③ 雨水調整池

下流の河川や水路の流下能力に見合うよう雨水の一部を一時貯留（ピークカット）し、流出量を抑制する施設。

④ 透水性舗装

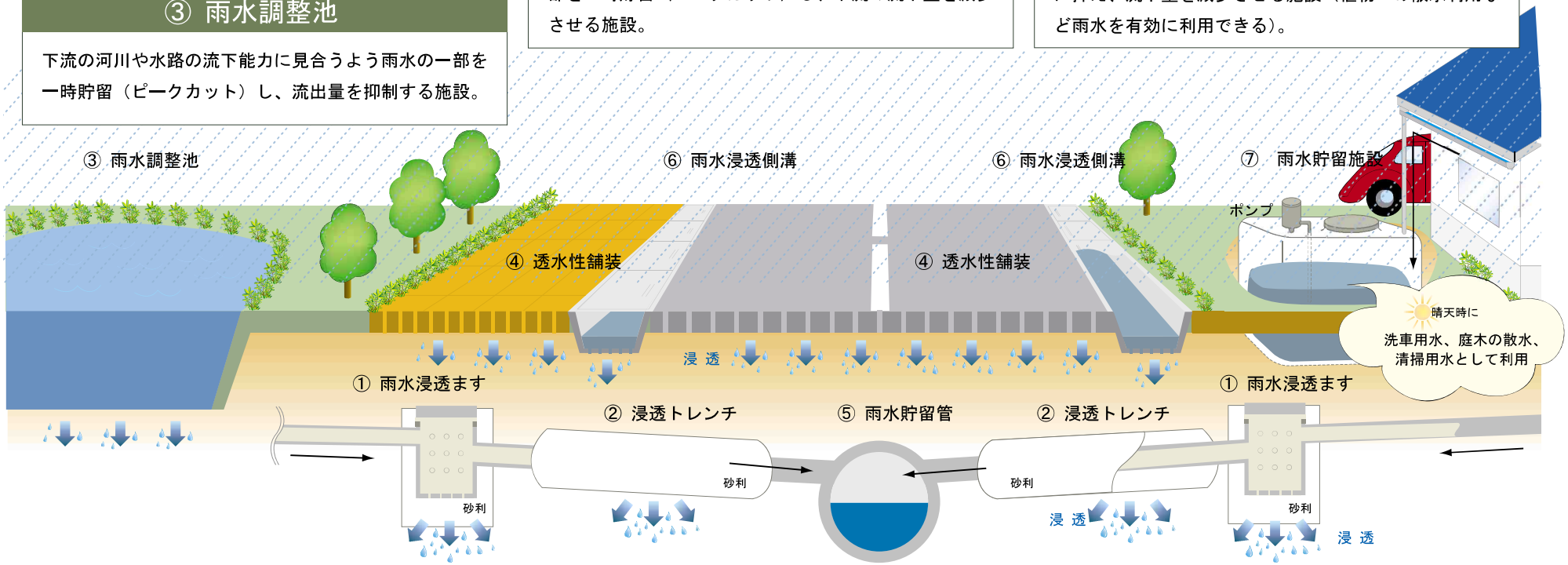
道路などの舗装面をポーラス状として透水性を持たせるもの。歩道面に主として用いられている。地下水かん養、雨水流出量削減等の目的がある。

⑤ 雨水貯留管

下流の河川や水路の流下能力が不足する場合、雨水の一部を一時貯留（ピークカット）し、下流の流下量を減少させる施設。

⑥ 雨水浸透側溝

Ｌ形側溝、Ｕ形側溝の組み合せでポーラスコンクリートや穴開きコンクリートを用いて雨水浸透を可能にするもの。

⑦ 雨水貯留施設

雨水貯留施設には浄化槽転用貯留槽と雨水貯留槽（雨水タンク）がある。雨水が川や水路へ流出するのを一時的に抑え、流下量を減少させる施設（植物への散水利用など雨水を有効に利用できる）。